

海外ホームステイで貴重な体験

小・中学生10人が姉妹都市フランクストン市を訪問

海外友好協会が夏休み小・中学生短期留学で姉妹都市オーストラリアのフランクストン市へ児童・生徒10人を短期派遣しました。交流行事などを通じて現地の人々の生活や文化に触れ、国際感覚を養うことを目的に実施しました。

シビックプライド推進室

☎995-1803



ホームステイや体験入学などで充実した国際交流

8月4日(出)から14日(火)までの11日間の日程で行われ、市内の小学生3人、中学生7人が参加しました。子どもたちは、慣れない英語と日本と違う文化や気候に驚きながらも、現地の方との親交を深め、オーストラリアの生活を体験しました。

滞在中は、各家庭にホームステイしながら、デリンヤ小学校やフランクストン高校の中等部に体験入学。ホストの子どもたちのクラスに入り、オーストラリアの授業を受け、練習した盆踊りや書道を披露するなど日本文化を紹介しました。



▲デリンヤ小学校の授業風景



▲フランクストン高校中等部の授業風景



▲盆踊りを披露

ホストファミリーとの交流などを振り返る

8月22日(水)、短期留学の報告会が市役所で行われました。現地の児童、生徒、ホストファミリーとの交流などを振り返りました。参加した子どもたちは「授業にタブレットを導入しているのは先進的に感じました」「ホームシックになったときに、ホストファミリーに温かく慰められて嬉しかったです」「出会ったときのホストファミリーの笑顔で緊張がほぐれて、笑顔の大切さを知りました」「今まで怖いと思っていた海外のイメージが、実際に訪れるといろいろな人に優しくしてもらい変わりました」「今は語学力が足りないけど、次は喋れるよう英語の勉強を頑張りたいです」など、見たり、感じたりした体験を生き生きと話してくれました。



▲短期留学の報告会